

1-7

魅力ある施設創り

ストップ!! 離職率 ～やめる前に考えよう～

人材育成

ストレスマネジメント

平成20年度 生活相談員スキルアップ研修会Bグループ

大洋園 生活相談員 中村 雅俊	小島 直樹・伊藤 玲子・大塚 克久・川津 明弘
東京都青梅市今井 5-2440-141	久保田 陽子・佐久間 賢・水野 直人・山根 和彦
TEL : 0428-31-3666	E-mail : m-nakamura@taiyoen.or.jp
FAX : 0428-31-3642	URL : http://www.taiyoen.or.jp/

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	当グループは東社協の高齢者福祉部会、生活相談員研修委員会が、変化に対応していく人材育成を目的とする「生活相談員スキルアップ研修会」で高い専門性や技術を身につけるために研修を行っている生活相談員9名のグループです。
----------------------------	--

<取り組んだ課題>

- ◎課題：『魅力ある施設創り』
- ◎問題提起：介護施設全体が人材不足と高い離職率の問題を抱え、社会的にも問題が表面化している。
- ①介護職員の離職率は、全産業と比較して高い。
『全産業平均：16.2% 介護職員：20.3%』
- ②離職者のうち勤務した年数が『1年未満での離職が42.5% 1年以上3年未満での離職が38.3%』
離職者の8割以上が『3年未満』で離職している。
- ③平均勤続年数は、全体で4.1年
平均勤務年数が短いことにより、介護サービスの質の維持・向上が困難な状態にある。

※介護労働実態調査（介護労働安定センター）

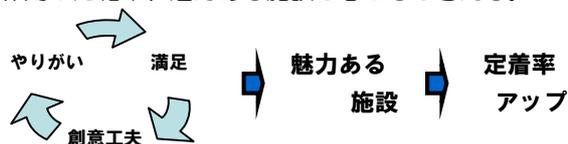
<具体的な取り組み>

- ◎介護職員に対して『魅力ある施設創り』に向けて、現在の問題点を明確にする為、アンケートを実施する。
- ◎その結果。全19施設（特養・養護・軽費・高齢者住宅・介護付）473名の介護職員より回答を頂く。（回収率76%）
介護職に『やりがいを感じる』職員は多い。しかし、『別の施設や退職・続けられるか分からない』59%の方が考えている。主な理由として ①給料が安い 26%
②時間外労働が多い 17% ③業務内容に不満 14.3%
④職場の雰囲気良くない 13.5%
⑤意見や提案を受け入れてくれない 6.5%
介護職に『やりがいを感じている』が業務内容等に『不満』を感じる職員が多く、その様な職員は現在の施設での継続意向（続ける気持ち）は低い。

逆に業務内容が『満足』と感じている職員は現在の施設での継続意向が高い。また、業務内容が満足と感じている職員は自ら『仕事に対して常に創意工夫』をしていることが分かった。

◎魅力ある施設創りについて検証

『仕事に対する創意工夫』⇒『仕事に対してのやりがい』⇒『業務内容に対する満足』という条件が相互に作用した結果、魅力ある施設と感じると考える。



アンケート結果により仕事に対し創意工夫を促す為、Bグループ内にて『1年～3年未満の介護職員同士で他施設間交流』を行う。施設の問題点や課題を出し合い一緒に解決する。

<活動の成果と評価>

- ①問題点や課題を出し合うことにより、問題の共有化解決に至る為の意見交換（創意工夫）が介護職員にとって刺激となりモチベーションが向上した。
- ②他施設を見学することにより、固定観念に囚われることがなくなり、介護職員の視野が広がった。
- ③介護職員より意見や提案が増え、施設全体が活性化した。

<今後の課題>

- ①継続的な施設間交流が出来るシステム創り。
- ②離職率減少に繋がったか検証していく。

【メモ欄】